

NEW にゆうとん

Jマガジン
発行責任者
高橋 久志
No.2H17.12.20

構造計算書偽装問題に感ずること

酒田支部長 赤谷典夫

基準法で定める構造規定は最低限のレベル。そこを基点として構造設計者は更なる工学的判断をして解析しているはずである。ましてや設計・製作・使用耐用と随所にヒューマンエラーが潜む可能性を持つのが「建築」のみならず「ものづくり」の宿命。エラーを回避するために品質管理をするのに、その品質を落とすとは言語道断、夢にも思わないこと。建築が芸術性を伴い文化の一部を担うものであるなら、かかわる人の手、頭脳、良心とこだわりがその基盤をなしている。精神性の無い仕事はもはや他社とのビジネス取引に値しないことを逆説的に教えてくれる事件である。

彼の建築士は、建築士会や関連団体に所属してないことを知るに至り倫理観は孤独の中では崩れ去るものなのかと考えさせられる。我々は孤独な建築士を作るまい、そしてオープンな雰囲気地域の連携が文化を形成していることに誇りを持ちたい。利那的な大都市圏の建築プロジェクトに押し寄せた歪みを傍観できる建築士は、むしろこの際、胸を張るべきであろう。誰にもこだわらず作られた建築が一番可哀相。建築はエネルギーの凝集体、何百億円となるであろう膨大な無駄遣いは温暖化を加速しただけの愚行、落胆極まりない。

第14回建築士会長杯ソフトボール大会

9月18日に寒河江市のチェリーランド内の河川敷グラウンドにおいて第14回建築士会長杯ソフトボール大会が開催されました。私たち酒田支部はブロック予選で新庄支部に4-3、村山支部には14-6と2連勝して決勝選に進出しました。決勝戦では、前年度優勝の山形支部との対戦で15-10で惜しくも敗れ、準優勝という結果となりました。

秋空の晴天の中、

新庄支部との対戦ではホームランも出て打線が活躍して勝利し、村山支部との対戦では相手のピッチャーに翻弄されて空振りする部員もいましたが、チームプレーが良く勝利しました。決勝戦で対戦した山形支部とは、前半は善戦しましたが、相手が優勝候補だけにスキも無く敗退しました。それでもファイナルプレーの絶えない楽しい一日でした。

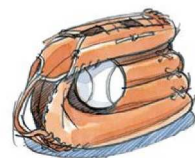
また、その日の夜には市内の居酒屋において祝勝会を行い、第7回以来7年ぶりの準優勝に祝杯を挙げました。ここでは、今日の試合について反省したり、準優勝のカップにビールを注いで呑み回したり、来年



ACC 公益部 活動状況

平成18年度からの酒田支部青年部ACC（公益部）の活動内容については、女性部との合同で地域貢献活動をしていきます。昨年より協議した結果、「ゴミステーション」の方向性で進めております。活動タイトル等は現在未定ですが、実際に小学生達にアイディアを出してもらい最終的に製作の段階まで活動して行ければと考えています。現況の調査からの統計を元に問題点を整理し、企画案の作成、地域対象等を検討し外部に働きかけ、単なる内部活動にならないよう模索中です。

地域貢献活動として、環境・リサイクルの視点から我々青年建築士が、地域のより良い環境づくりには何が出来るかを考え実践していきたいと思えます。



度の大会では一つ上の『優勝』を誓って乾杯したりと、和気あいあいと呑んで解散しました。

第18回(社)山形県建築士会青年大会

10月22日に天童ホテルを会場に第18回青年大会が行われました。今大会のテーマは『災害と安全対策』。青年建築士にできることとし、最近地震など災害が多発しているなか、我々にできる事は何かを考える大会となりました。

はじめに山形県総務部危機管理室総合防災課の結城進課長による『山形県の防災対策について』と題した講演が行われました。県内の活断層の位置や状況、県の防災体制を知る事ができました。



次に、「建築物におけるの安全」、「街づくりにおいての安全」、「専攻建築士制度について」、「青年部と女性部の交流について」の4テーマについて分科会が行われました。大会テーマに基づいた建物や街においての安全については、日ごろ目に付く危険な場所やそれに対する安全策について話し合われました。専攻建築士については未だに認知度が低く、CPDにも入っていない人が多くいました。女性部との交流については、地域貢献活動を青年部と合同で行っているなどの意見がだされました。

懇親会では、他支部との交友を深め大変有意義な時間をすごすことができました。

酒田支部からは、5名と少人数の参加でしたが、来年はもっと多くに参加して頂き青年部の活動を活発にしていきたいです。

女性建築士と学ぶ景観講座

『景観から考えるまちづくり、建物づくり』を終えて

女性部委員長 新井野郁子
 去る10月8日、新庄市かむてん公園で、東京大学アジア生物資源環境研究センター教授の堀繁先生をお迎えして『景観から考えるまちづくり、建物づくり』と題した講演会が開催されました。

堀先生は、ゆとり都山形アドバイザー、山形県景観検討委員会委員長を初めとして、最近では銀山温泉・温海温泉の足湯の設計作品で知られ、さびれた山形の景観を蘇らせる景観のスペシャリストなのです。会場となった『かむてん公園・すぼーていあ』も先生の作品です。

この度は、一般の方にも分かりやすい内容でお話頂き、特に『店前の3つの仁義』は、聴衆参加型で大変盛り上がりました。

① 植物(あいさつの装置) ② のれん・照明(迎客の装置) ③ のぼり(集客の装置) など、お金を掛けなくても出来る事を教えて下さいました。

予算が少ないとお話したら、マイカーに学生達を乗せて自分で運転して来て下さいました事、とても感謝しております。



ボーリング大会

去る3月4日(土)、大成ボウルにて青年部主催のボーリング大会が開催されました。総勢14名参加のもと2ゲームトータルで行われ、勝負のかけ引きもありすばらしい大会となりました。次回はより多く参加をお待しております。

主な成績は次の通りです。
 優勝 佐藤豊和 330点
 準優勝 田村貴司 310点
 第3位 高橋久志 285点



SAKATA・MI6 情報

耐震診断に関する相談窓口
 酒田市では木造住宅簡易耐震診断を無料で実施しております。

対象建築物―木造在来工法の構造で2階建までの一戸建住宅

詳細は酒田市建築確認審査係(3階)
 TEL 0234-26-5749
 にご相談下さい。

編集後記

日頃より青年部の活動につきまして、ご理解を頂きまして誠に有難うございます。ご意見やご感想など何でも構いませんので、たくさんお寄せください。

お願い致します。
 前号でカラー版をホームページに掲載できませんでしたので今号と同時に掲載します。

酒田支部ホームページアドレス

<http://www.yamagata-ken.org/~sakata/>

Jマガジン部長

伊藤克行